

# よかご通信

2010年3月 春分号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)

O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)

バックナンバーID = o2farm

春ですね！春が来ましたね！！皆さまはいかがお過ごしですか。花粉症の方にとっては憂鬱な春なのかもしれません。田舎の山は杉だらけですが、花粉は土に落ちると湿気があるので舞い上がらないそうで、舗装の多い都会の方が実は多く舞っているのでしょうか？



あちこちで見かける春の兆しにウキウキしながらも、ぼちぼち農作業がスタート。「いよいよシーズン開始！」と気持ちがひきしまります。今年は8回目の米づくり（耕太いわく「田んぼ作り」なのだそう）。今から田植えまでは本当にめまぐるしい毎日。水路や田んぼの準備、苗の準備、野菜作りの準備。お天気を見ながら、田植えに間に合うよう段取りをするのが腕の見せどころなのです。夫と私は一緒に農業を始めたのですが、ここ4年ほど育児に明け暮れている私は段取りどころかトラクターの操作も忘れかけている状態。すっかり田んぼを任されるようになって

いる耕太にずいぶん差をつけられてしまいました。まあ先は長いですから、焦らずに今やるべきことに専念したいと思います。そちらをおろそかにすると、後で取り返しがつかないことになりますから。

そうは言っても、耕太1人で作業をするのはとにかく大変。今年は研修生のババミキさんがいるので、心強い限りです！芸大を出たアーティストとはいえ、剣道部だったという彼女はけっこう力もあるし根性者。彼女や励志おじの力を借りながら、寒空の中3月上旬からビニールハウスの建設に取り掛かっています。今まで使っていたビニールハウスは小さく、去年までは2回に分けて苗をつくっていました。つまり、種まきが2回、管理が2回、苗運びが2回。何でも2回ずつしなければならず、文字通り「二度手間」。



かかる時間も倍なので、古くなってきたこともあって、どうにかしなければと思っていたところ、知り合いの農家さんから「連棟」という、かまぼこが二つ並んだようなビニールハウスを譲り受けたので、それを建てることにしました。まずは測量から。ところがなかなかうまくいかなくて頭を抱える耕太。何度もやり直しながら、ようやく基礎ができたところです。



後はお天気のいい日に支柱を組み立て、ビニールを張ればできあがり。言葉で書くと超簡単なのですが、何せハウス建設は初体験、どうなることやら。今年の春は雨ばかりで思うように作業が進みません。種まきに間に合うか、気がかりなところです。

春と言えば、タカナ。阿蘇の高菜はあか牛と並ぶ特産品の一つです。ピリッとくる適度な辛みでご飯がすすむこと、すすむこと。辛いのに、子供たちも大好き。タカナ、タカナ～、と歌いながら、朝昼晩とおやつにも。感心するほどよく食べます。そのタカナをとるのがちょうど今の時期。「うちのお仕事を手伝うから保育園に行かない」と宣言

した4歳の桔平・連蔵は、もちろん全工程に参加。タカナを摘んで、運んで、塩もみ。言うほど助かりはしませんが、「あ～、今日もよく仕事をした」と本人たちが満足しているので、よしとしましょう。彼らいわく、「僕たちが漬けたタカナ」。しょっぱいようなら1時間ほど水に漬けて塩抜きを、塩気が足りないようならお醤油などをかけて食べたりしています。



農作業とはあまり関係ないのですが、今年も耕太の公演がありました。「たまにはドキドキしてみたい」といって、去年から演劇の世界に足を踏み入れた耕太。といっても、劇団員とかではなく、2週間ほどの通い稽古で仕上げる、リーディングというスタイルの劇です。役者さんは手に台本を持ってステージにあがり、大した動きやセットもない。朗読というよりも、舞台稽古のようなイメージですが、けっこう引き込まれていくもので、初日の公演を観た私は、独特の不思議な世界を楽しんできました。それにしても、短期間とはいえほとんど毎晩、しかも阿蘇から熊本市内まで1時間かけて行く情熱はたいしたもの。忙しくてへとへとかと思いきや、刺激があるようで本人はいたって上機嫌。2月は「マキちゃん」(=薪割り)に夢中かと思えば、3月は「ケイコちゃん」(=稽古)。お次は「サナエちゃん」(=うちの田植え機は早苗という名前)が待っていて、エリちゃんはなかなか振り向いてもらえません!?



お次もあまり農作業とは関係ありませんが、2月終わりに我が家で珍しい集まりがありました。私たちが卒業した慶応大学湘南藤沢キャンパスから学生と教授が、そして同キャンパスを卒業して九州で農業をしているメンバーが集合。しかもほとんど同世代。農学部、とまではいかななくても、農をテーマにした研究室をつくれたらいいね、と盛り上がりました。それぞれ農作業が忙しくて頻繁に会うことはできませんが、比較的近くに何人も仲間がいる、というのは本当に嬉しいことです。そういう仲間や、お米を買って下さる皆様に支えられ、O2ファームは今年も前進していきたいと思っています!



先日の大雪はびっくりしましたね。一度暖かくなってから急に冷えるとかたえます。もちろん子供たちは大喜びしましたが。雪の翌日、子供たちと一緒に雪遊びをしている34歳の長男!?.ランドアートの作品なのだそうです。あとは暖かくなるばかり...だといいいのですが、皆さまどうぞ体調管理にお気をつけ下さい。来月の通信では、いよいよ今年の種もみをご紹介しますはずです。どうぞお楽しみに!

